



熱気球搭乗体験



熱気球教室

熱気球で地球を元気に！ 百里バルーンクラブ

百里バルーンクラブでは、「熱気球で地球を元気に」を合言葉に、熱気球教室や搭乗体験、イベントでのバーナー体験への参加を通じて、地域の魅力発信に取り組んでいます。子どもたちに空への夢や感動を届けるとともに、茨城空港周辺のにぎわいづくりや観光振興にも力を入れています。

熱気球は、多くの人を笑顔にし、世代を超えた交流のきっかけにもなります。

これからも地域の皆様と連携しながら、小美玉市の魅力を全国へ発信し、地域の活性化に貢献してまいります。

イベントなどで見かけた際は、ぜひお気軽にお声掛けください。

(百里バルーンクラブ 代表 山西 弘一郎)

あなたもまちづくり活動、始めてみませんか？



まちづくりの認定を受けませんか？

まちづくり活動を支援しています！



まちづくり組織の認定

地域を舞台に、地域活性化や課題解決を目的として市民主体で活動する組織が「まちづくり組織」の認定を受けることで市からの支援を受けることができます。

※認定の可否は、有識者等で構成されるまちづくり審査会（毎年4月・9月頃に開催）で決定されます。



補助金

「新たな取組を始めたい」「もっと充実させたい」などの要件を満たすと、活動資金の助成申請ができます。



広報支援

市が発行する広報紙や公式ホームページを使ってまちづくり活動の情報を広く周知することができます。



人材育成

連絡会主催の研修等のまちづくり人材を育成する研修会に参加することができます。



備品貸出

イベント開催に必要な机、イスなどの備品を借りることができます。※備品一覧は市ホームページに掲載

お問い合わせ

小美玉市役所 市民協働課 ☎0299-48-1111(内線1132)
※各団体の入会方法についてもお気軽にお問い合わせください。



納場地区コミュニティ

今月の表紙

「ふれあいまつり」を開催し、地域の絆を深めました

納場地区コミュニティでは、令和8年6月6日(土)に部室のJA農産センターにおいて、市長をはじめ多くの来賓を迎え、約400名の地域の人たちが参加のもと「ふれあいまつり」を開催しました。

最初に、小美玉市の小学校では唯一である納場小学校児童による金管バンドによる素晴らしい演奏が行われ、保護者や地域の人達の喝采を浴びていました。

その後、みのり太鼓の力強い演奏や、OMT-JAPANの演奏が続き、会場は一層盛り上がりました。

一方、各地区が担当する模擬店も盛況で、子ども達は綿あめやかき氷を手にして、水ヨーヨーや輪投げ等で「おまつり」の雰囲気を楽しみ、賑やかな初夏の「ふれあいまつり」となりました。

(納場地区コミュニティ 会長 柳澤 進)



まちづくり認定組織数 令和8年9月現在

学区コミュニティ … 12団体 テーマ型まちづくり … 21団体 まちづくり委員会 … 37団体

まちづくり組織
連絡会について



NPO法人CREATIVO小美玉



プレーパークオープン！

NPO法人CREATIVO小美玉は、遊びを前提にした子ども向けサッカークラブです。私たちは、子どもの長時間のオンラインゲーム、自由に遊べない公園などで外遊びの機会が減ったことによる心身への悪影響の解決に取り組んでいます。これらの問題を解決するために外遊びの楽しさを体験できる「森のカレッジ・遊び場ベースキャンプ(怪我と弁当自分持ちをモットーにした遊び場)」を作り、今年6月14日にオープンしました。このプレーパークで外遊びを楽しみ、たくましい子どもに育ってくれればうれしい限りです。
(NPO法人CREATIVO小美玉 代表理事 市ノ澤 証明)

竹原地区コミュニティ

ふるさとウォッチング&ウォーキングを実施しました！

令和8年3月21日(土)に、竹原地区コミュニティの年間行事であるふるさとウォッチング&ウォーキングを実施しました。行先は、栃木県の大谷石採石場資料館、大谷観音、佐野厄除大師。バス2台を利用し、56名が参加しました。行き帰りのバスの中や訪問先でも情報交換等のコミュニケーションが図られました。和気あいあいと若い頃を思い出した様子で話しが花が咲きました。また、バスの中では抽選会等も行い、当選者には商品も出て盛り上がり、帰りには、またお会いしようとの約束がなされ、散会となりました。今後も、住んでみたい、住んで良かったと思われるまちづくりに活動をしていきたいと思っております。
(竹原地区コミュニティ 会長 稲田 弘)

写真 上：大谷観音
写真 下：大谷石採石場資料館



美野里ライオンズクラブ

「羽鳥駅前をきれいに！」



わたしたち美野里ライオンズクラブは、令和8年6月19日(金)午前7時からJR羽鳥駅周辺の早朝清掃活動を行いました。会員たちが駅前ロータリーや歩道を巡り、植え込みにポイ捨てされたタバコの吸い殻や空き缶などのゴミを丁寧に拾い集めました。行き交う通勤・通学の皆様から「ご苦労様」と温かい声をかけていただき、地域との絆を感じる有意義な時間となりました。約1時間の作業で駅前はずっさりと美しくなりました。当クラブは、これからも誰もが気持ちよく暮らせる、快適な環境づくりに励んでまいります。
(美野里ライオンズクラブ 会長 高野 晴夫)

住みよい清風台区をつくる会

「清風台 わんこ交流」



清風台わんこ交流は、清風台の中でわんこを飼われている方が増加してきている中、わんこをお飼いでない方々、あまり得意でない方々との間で「気持ち良い関係が築ければ！」という考えのもとに提案されたものです。「わんこ友達間での緩い繋がり」、清風台におけるまちづくりの一環として区長からの(不)定期便り47号にも掲載したところ、早速参加される方も。さらにニャンコの飼い主の方も参加頂くなど、既に二桁越えの参加状況で、ちょっとした情報共有/交換、そして「交歓」の場にも！
(住みよい清風台区をつくる会 会長 北村 一郎)

住みよい堅倉地区をつくる会



かたくら朝市



防災フェスティバル

イベントを通して交流を深め、安全で明るい地域づくりを目指しています！

住みよい堅倉地区をつくる会では、年間を通じたまちづくりを展開しています。昨年は、7月に堅倉小学校で熱中症講座、9月の防災フェスティバルのほか、11月23日(日)には、市役所駐車場で「かたくら朝市」を開催しました。かたくら朝市では、手打ちそばの振る舞いや県警音楽隊、みのり太鼓の披露、多くの模擬店の出店や大抽選会などを開催し、多くの住民が交流を深めました。また、冬には堅倉小学校の6年生と防災マップを作成・発表し、地域の危険箇所を共に確認しました。今後も地域一体となり、安全で明るい地域社会の醸成に努めます！(住みよい堅倉地区をつくる会 会長 磯辺 寛)